



# ねずみのすもう







むかしむかし、

おじいさんと おばあさんが

いました。

家<sup>いえ</sup>に、ねずみも 住<sup>す</sup>んでいます。



おじいさんは、山<sup>やま</sup>へ 行<sup>い</sup>きました。

たくさん はたら 働<sup>はたら</sup>きました。

つかれました。

すこ やす 少<sup>すこ</sup>し、休<sup>やす</sup>みます。

あれ？ 声<sup>こえ</sup>が 聞<sup>き</sup>こえます。



ねずみが、すもうを しています。

やせた ねずみと

太<sup>ふと</sup>った ねずみです。

やせた ねずみが 負<sup>ま</sup>けました。

おじいさんの 家<sup>いえ</sup>の ねずみです。





おばあさんは、ねずみの

すももの はなし話を き聞きました。

「きょうは、おもちを つきましよう。

うちの かねずみが 勝ちますように。」



おばあさんは、

ねずみの あな 穴の まえ 前に

おもちを お 置きました。



次の朝、もちはありません。

おじいさんは、きょうも

山へ行きます。



ねずみが、すもうを しています。

きょうは、やせた ねずみが

勝<sup>か</sup>ちました。







「きょうは 強い<sup>つよ</sup>ね！ どうしたの？」



「おもちを たくさん 食べた<sup>た</sup>んだ。」



「いいなあ。食べた<sup>た</sup>いなあ。」

おじいさんは

（きょうは、二<sup>に</sup>ひきのために

おもちを 作る<sup>つく</sup>う。）

おも  
と 思 っ ました。

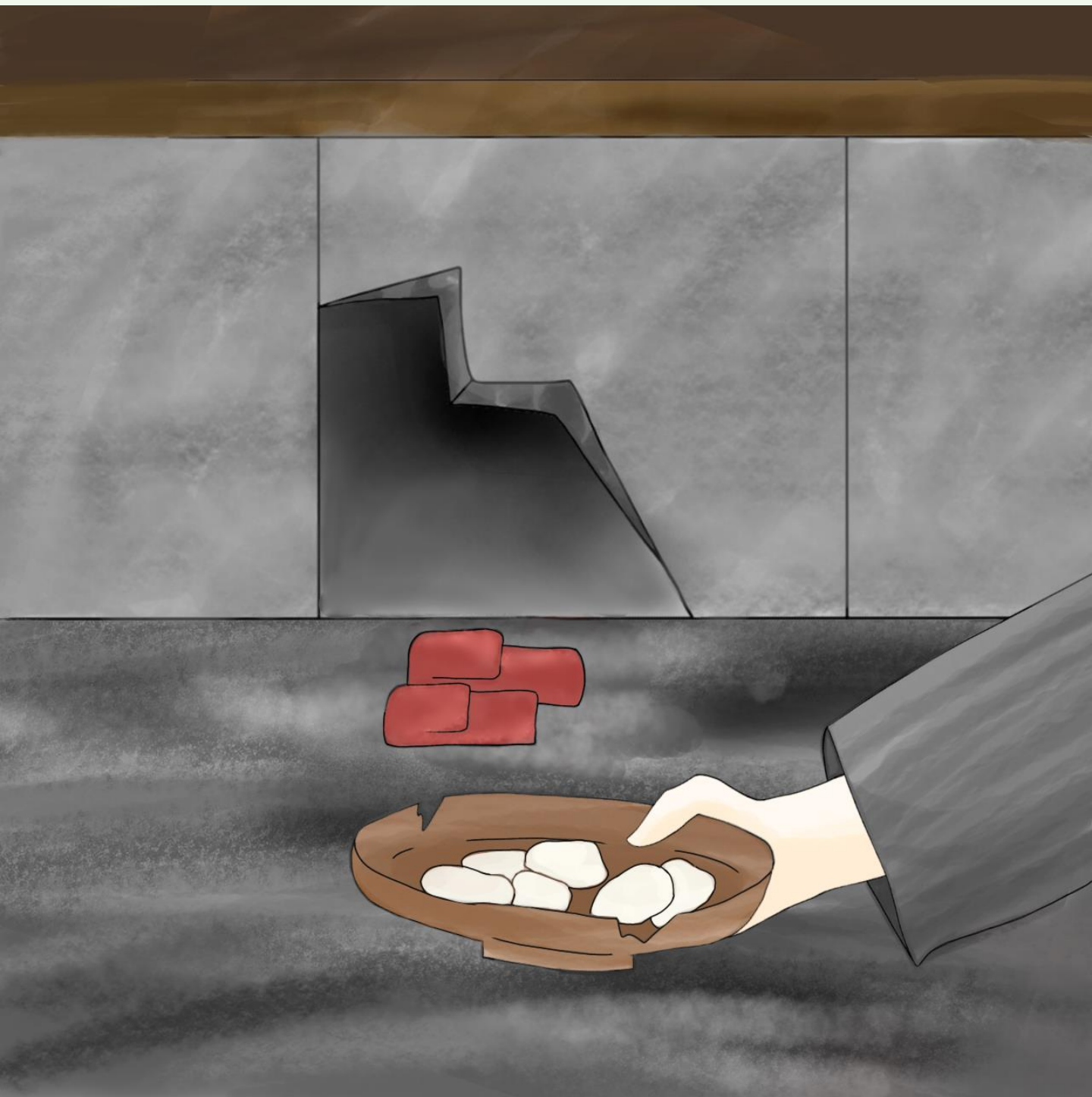


おじいさんと おばあさんは、

前まえよりも たくさん

おもちを 作つくりました。

赤あかい ふんどしも、二にほん本 作つくりました。



夜<sup>よる</sup>です。

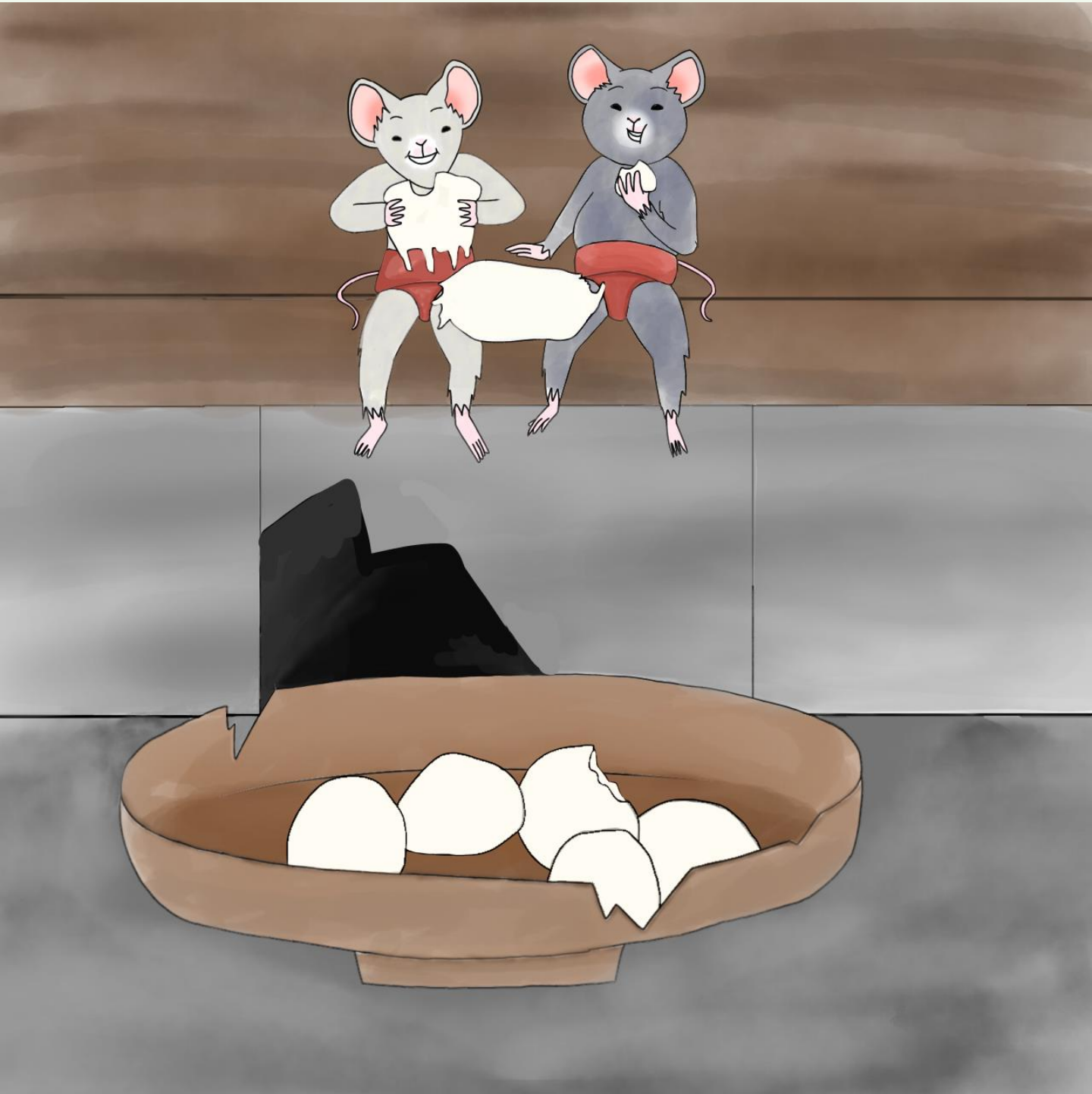
二<sup>に</sup>ひきのねずみは、

おもちを全部<sup>ぜんぶ</sup>食<sup>た</sup>べました。

太<sup>ふと</sup>ったねずみが、

「お礼<sup>れい</sup>を<sup>い</sup>したいなあ。」

と言<sup>い</sup>いました。



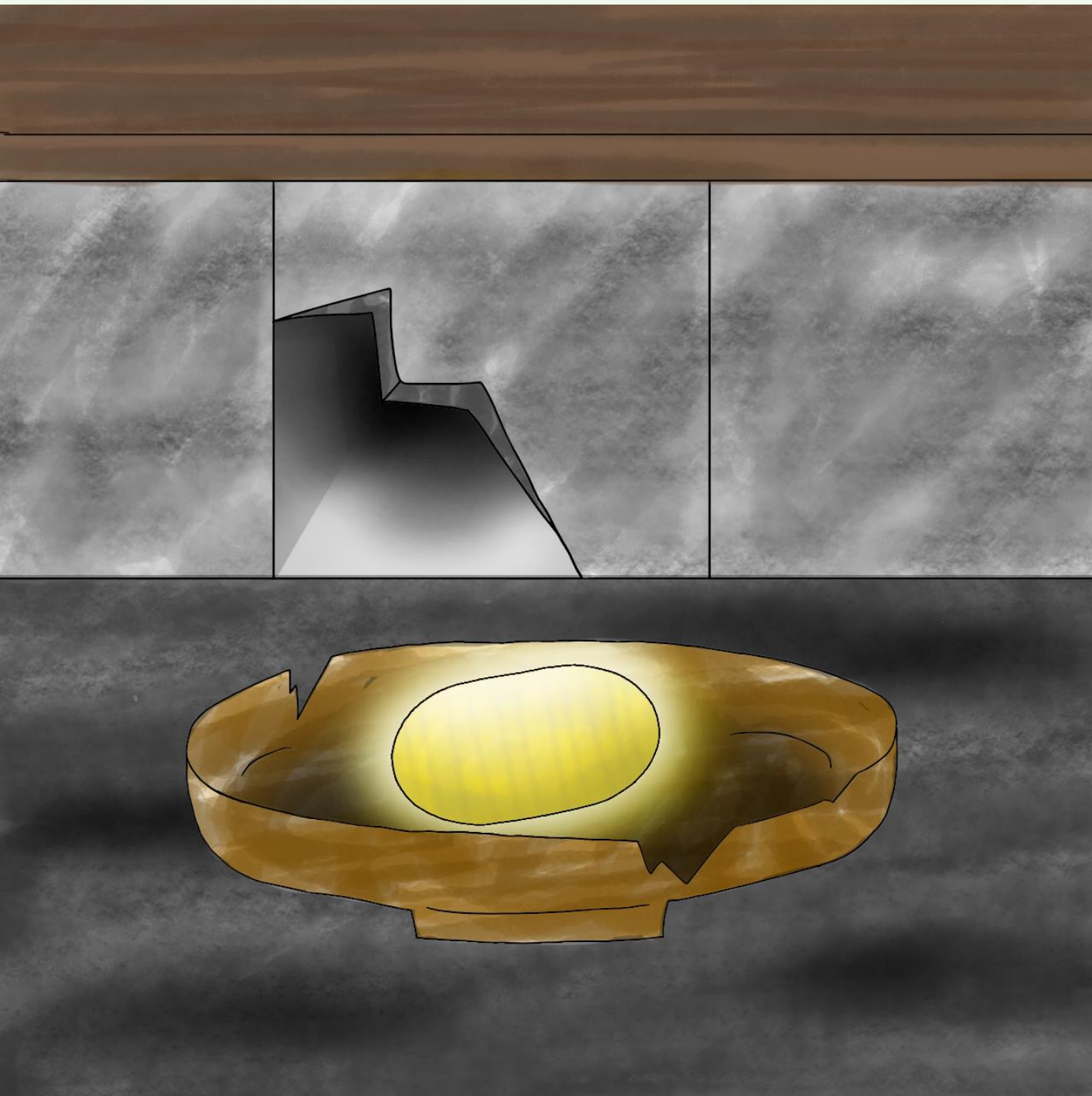
朝あさです。

あれ？

穴あなの 前まえに、  
お金かねが あります。

おもちと ふんどしは ありません。





きょうは、おばあさんも

ねずみの すもうを 見てみいます。

(どっちも がんばれ！)



まいにち

毎日、ねずみたちは

すもうを します。

「でかんしょ。でかんしょ。」



おわり

でかんしょ  
でかんしょ





## ねずみのすもう

- 【 絵 】 木村百花
- 【 作 】 上野満喜・岡本由起子・奥村玲子・小澤照恵  
紙屋聡子・辻雅代・坂内泰子・樋口万喜子  
古屋恵子・門間亜里沙・吉田涼子
- 【 助 成 】 公益財団法人ベネッセこども基金
- 【 企 画 】 地球っ子教室(認定NPO法人地球学校)
- 【作画監修】 KIMaaG(学校法人岩崎学園 情報科学専門学校・横浜  
デジタルアーツ専門学校の学生プロジェクト)